第１回　学校評議員会議事録

日時　平成 27 年 5 月 28 日(木)　15：00～16：00

場所　小会議室

参加者　評議員　川村さゆり氏　（平成 24 年度本校 PTA 副会長）
　　三井惠司氏　（富士吉田市立下吉田中学校長）
　　穂坂路男氏　（勝山診療所院長）
　　前田市郎氏　（(株) 前田源商店　代表取締役）
　　職員　校長・事務長・教頭・第二教頭・広報情報部（記録）
欠席　評議員　鈴木敦子氏　（健康科学大学理学療法学科教授）

1.　校長挨拶
　地域の優秀な生徒を育てていく学校として、校外の幅広い分野からの意見を拝聴し、本校教育の活性化に役立てていきたい。

2. 委嘱任状交付

3.　自己紹介　参加者一同

4.　学校評議員の活動に関する説明
・山梨県立学校評議員設置要項について
・昨年度の活動報告について
・今年度の年間計画について

5.　本校の概要説明
校長
・学校目標、経営方針について
校長
　学力・人間性・心と体の育成を通じ、延いては郷土、日本、世界に貢献できる人材の育成を目指している。授業改善については、既存職業が新規職業に置き換わっていく中で、既存知識を整理するのではなく、基礎的な知識を元に自ら課題を発見して解決していく能力を身につけさせていきたいと考えている。主体性・自立性の向上については選挙年齢の引き下げによる生徒の選挙権についてが直近の課題であり、教育活動全体を通じて社会実践力を育みたいと考えている。

6．懇談

評議員

　勉強と部活の両立（2 兎）だけでなく、考える力を身につけて社会実践力の 3 兎を追う目標に賛同する。一方で、教師側の負担も心配である。

評議員

　不登校の子供に対して、生徒と親の両者に別々に指導することが有効であり、細やかな対応が必要となる。しかし、学校だけでは対応しきれない為、（スクールカウンセラーが吉田高校で導入されていることを聞き）そのようなシステムが稼働し始めている事は心強く感じた。また、教員側のそのような視点はありがたい。

評議員

　外から見た吉高生は、規律を守っているイメージ。さらなる人間性の向上に期待している。多感な時期である高校生活を、吉田高校という環境の中で過ごすことによって社会に通用する人材に成長できるのではないか。

評議員

　親からの視点で見ると、安心して吉田高校に子どもを預けられていた。しかし、真面目な生徒の集団の中にいる為、安心しきってしまっている面もあった。生徒を任せることができたのは吉田高校だからこそである。

7. 諸連絡

第 2 回は 10 月 30 日(金)、第 3 回は 2 月 18 日(木)の予定。

学校行事(学園祭、オープンキャンパス、理数科課題研究発表会、富士登山強歩大会)に参加してほしい。

～以上～